

科目区分	専門分野	単位数・時間数	1単位 30（8）時	開講時期	年・期
授業科目名	看護管理			授業形態	講義
担当教員	小林奈々		実務経験	○看護師	
授業概要	対家畜に質の高い看護を提供するためには、看護職「入ひとり」が提供する対家畜へのケアのマネジメントと、看護職を総括し、組織として目的を達成する看護サービスのマネジメントについて理解しておく必要がある。看護基礎教育の段階から専門職として自立・自律した存在を目指すことは質の高い看護の提供には不可欠である。看護基礎教育の最終段階の学習として、チーム医療および他職種との協働・連携のなかで看護師としてのメンバーシップ及び・リーダーシップを理解し、看護をマネジメントする基礎的能力を養う。				
学習目的	看護マネジメントの概念や人材育成・活用について理解する。看護を学ぶ看護学生が視野を拡大し、知識を深めることを目的とする。				
到達目標	①看護におけるマネジメントの基本が理解できる。 ②看護サービスのマネジメントが理解できる。 ③マネジメントに必要な知識と技術が理解できる。				
授業内容	1・2 看護とマネジメント 看護ケアのマネジメント 3・4 看護職のキャリアマネジメント 看護サービスのマネジメント 5・6 マネジメントに必要な知識と技術 7・8 看護を取り巻く諸制度 終講試験				
評価方法	筆記試験、出席状況、受講態度等で総合的に評価する。				
教科書	系統看護学講座 専門分野 看護の統合と実践 1 看護管理 第11版第2刷 医学書院 2025				
参考図書 等					
備考					

科目区分	専門分野	単位数・時間数	単位・20時間	開講時期	3学年・後期
授業科目名	看護研究			授業形態	講義
担当教員	村田節子		実務経験	○（看護師）	
授業概要	学問としての看護学の発展や、エビデンスレベルの高い看護を実践するには、研究が必要である。この科目では看護研究の意義を学び、自らが課題を発見し、解決するための方法や計画が立案できることを目指す。				
学習目的	学問としての看護学の発展や、エビデンスレベルの高い看護を実践するには、研究が必要である。この科目では看護研究の意義を学び、自らが課題を発見し、解決するための方法や計画が立案できることを目指す。				
到達目標	・看護研究の意義や目的について述べるができる。 ・研究の方法について述べるできる。 ・研究計画を立てることができる。				
授業内容	1,2 看護研究を学ぶ前に——調べること・研究の楽しさを知ろう、看護研究とは 3,4 看護研究の始め方——リサーチクエスチョンをたてる 5,6 情報の探索と吟味——文献レビューとその方法 7,8 研究における倫理的配慮 9,10 研究デザイン——研究の設計と方法の選択 11,12 データの収集 13,14 データの分析 15,16 研究計画書の作成、研究を伝える 17,18 ケースレポート・事例研究の進め方 19,20 調査研究の進め方 21,22 文献研究・実践報告の進め方、看護研究の未来				
評価方法	レポート100%				
教科書	坂下玲子：系統看護学講座 別巻 看護研究. 医学書院. 2025				
参考図書 等					
備考					